

TAKE FREE

メルディア | 一般財団法人メルディア広報誌

MELDIA

44

2021 SEPT.

障がい者を応援

荒川ひまわり

布施博が訊く
多摩市社会福祉協議会

MELDIA Café ONLINE & ONLIVE
MELDIA Café #9

シンガーソングライター・水越けいこ
「M size / はじまり」

事業所探訪
APPLAUSE GARDEN

親なきあと
親なきあと相談室



広報誌 MELDIA | 2021 SEPT. VOL.44 | TAKE FREE

広報誌 MELDIA VOL.44 2021年7月25日発行 (隔月1回25日発行) 第44号 通巻44号
発行所 / 一般財団法人メルディア事務局 〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F



同じ家は、つくらない。



Design Your Life

MELDIA GROUP

三栄建築設計

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
<https://san-a.com>

OFFICIAL SNS



詳しくは、三栄建築設計公式サイトまで

Arakawa Himawari

都電がゆったりと走る

荒川の地域で愛される

障がいのある人たちが

真心をこめて作るお菓子

荒川区の三ノ輪橋から新宿区の早稲田まで30の停留所を結んで運行している、東京都内に残る唯一の都電の路線が「荒川線」です。この路線の沿線には古き佳き時代の面影を映す街並みが残っていることでも知られています。

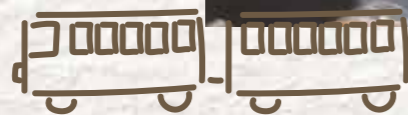
荒川線が走る線路のすぐ近くに、今回の取材先「荒川ひまわり」があります。

ここでは利用者さんたちが近隣から委託される内職作業とパウンドケーキの製造と販売を中心とした生産活動を行いながら地域参加をしているのだといいます。

荒川ひまわりを訪ねて、利用者さんたちの生産活動や「パウンド屋」での日々の作業の様子などをお聞きしてきました。

社会福祉法人 ترام あらかわ
荒川ひまわり／パウンド屋
(就労継続支援B型事業所／就労定着支援事業所)

おいそー!



Pound ya



Arakawa



俳優・タレント
大矢 真那
おおや まさな

パウンドケーキの販売が好評
利用者の工賃向上にも繋がる

大矢 利用者さんたちがパウンドケーキの製造と販売に従事しているそうですね。

北本 はい。就労継続支援B型事業の中でやっていることのひとつが「パウンド屋」というお店の運営になります。

大矢 どうしてパウンドケーキのお店をやるうとということになったんですか？

北本 この「パウンド屋」を始める前は作業所内で内職作業をやるのが主でした。でも、内職作業だと作業自体の単価が低くて、利用者さんたちが得られる工賃を上げていくことが難しかったです。そこで、「内職作業だけではなくて他に何かできることはないかな」と考えていました。地域で開催されるバザーなどでパウンドケーキの販売をしたことがあります。それが皆さんに好評で売りが良かったんですね。「これは良いかもしれない」と思ってスタートしたのがきっかけです。

大矢 最初から今のよう店舗を構えて販売していたわけではないんですね。
北本 バザーなどでのパウンドケーキ販売を何度も重ねていく中で、「ちゃんと営業許可を取ってお菓子の製造と販売をやってみては？」という助言を保健所の担当者からいただいたことがありました。その辺りから実店舗を構えての展開を考えるとよくなりました。



社会福祉法人トラムあらかわ
荒川ひまわり／施設長/
サービス管理責任者
北本末魅さん
きたもとみみ



大矢 そもそも、どうして商品としてパウンドケーキを選んだのですか？

北本 お菓子作りの経験がほとんどない利用者さんが多かったの、「まずは手軽にチャレンジできるケーキ作りから始めてみよう」ということでパウンドケーキを選んでみました。

大矢 そういう経緯があったんですね。

北本 パウンドケーキを選んだのには他にも理由があって、作り方の基本は同じでも、中に入れる材料を変えることで味のバリエーションを増やすことができます。この先に継続して事業を行っていくうえで、「商品展開のしやすさ」という部分は強みになるだろうと考えました。

オリジナリティ溢れる商品多数
メニュー開発は利用者が係わる

大矢 お菓子作りが得意で、それに詳しい人が職員さんの中にいたんですか？

北本 そうです。最初はその職員に習ってお菓子作りを始めました。でも、お菓子作りが得意とはいっても、プロではないわけですよ。そこで、プロとして活躍するパティシエから指導を受けて、クオリティがより高い商品の開発を目指しました。

大矢 そうでしたか。販売しているパウンドケーキの種類をお聞きしたいです。

加藤 定番商品としては、プレーン、ラムレーズン、キャラメル、チョコ抹茶などのご用意がありま

す。その他に季節や時期ごとの限定商品なども販売していて、どちらもお客様から好評をいただいています。

大矢 抹茶好きの私としてはチョコ抹茶がすごく気になります！

加藤 チョコ抹茶は固定ファンがいるくらい人気の商品なんです。これだけを目当てに来店されるお客様も多いんですよ。

大矢 見るからに美味しそうでもん。

加藤 ありがとうございます。

大矢 メニューがとも多彩ですけど、販売する商品はどうやって決めているんですか？

加藤 利用者さんたちと私たち職員とで、どんな商品を開発したら良いのか、商品展開はどのようになるのか、定期的にミーティングを行って決めていきます。

大矢 利用者さんたちが出したアイデアが商品化されることもあるわけですね。

加藤 もちろんです。いま試作しているパウンドケーキの「黒糖きなこアーモンド乗せ」だとか「りんじん」などは利用者さんたちが考案したメニュー(商品)になります。

大矢 自分のアイデアが採用されて、それが商品化されるとなると、やりがいがありますね。

加藤 利用者さんたちは、自身が考案した商品をお客様に購入していただけることに「やりがい」を感じているようにも思います。

Himawari



社会福祉法人トラムあらかわ
荒川ひまわり／精神保健福祉士
加藤悠香さん
かとうゆうか



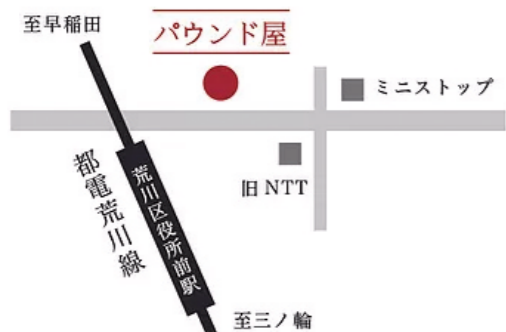
Arakawa
Himawari



パウンド屋
東京都荒川区荒川1-3-9
TEL / 03-3802-0141
<https://www.paundoya.com/>



Map



●都電荒川線「荒川区役所前」から徒歩1分



荒川ひまわり
東京都荒川区荒川1-17-3-103
TEL / 03-3891-0507
<https://www.tram-arakawa.org/himawari>



社会福祉法人トラムあらかわ
東京都荒川区荒川東尾久3-20-10
ベルメゾンエス2F
TEL / 03-3895-6149
<https://www.tram-arakawa.org/>



（職人のように仕事と向き合い
責任感を持って作業にあたる）

大矢 利用者さんたちの作業の様子や働きぶりを教えてください。

加藤 楽しんで作業をしている様子は見て取れますし、どの利用者さんも、まるで「職人」のように自信を持って真剣に作業に取り組んでいるように感じます。

大矢 素敵ですね！

加藤 どの作業も決して手間を省かずに責任感を持って作業している場面をよく目にします。

北本 利用者さんの中には精神疾患の薬を服用している人もいますが、その薬を服用している

と身体がとても疲れやすくなる傾向があるのだと思います。

大矢 そうなんですか。

北本 どんなに身体が辛い時でも、絶対に弱音を吐いたりしないんですね。利用者さんたちの丁寧な作業を見て、「尊敬に値する」と私は感じています。

大矢 最後になりましたが、現在の課題などがあつたらお聞かせください。

北本 私たち職員の本職は「福祉」です。店舗の経営についてはクリアすべき課題が多いように感じます。これまでと同様、多くの人たちの力添えをいただきながら、利用者さんたちが活躍する幅を拡げていきたいなと思います。

取材後記

パウンド屋で主に販売業務を担うという早川さんにもお話を聞きました。「販売の仕事は自分たちが作った商品をお客様にお届けする最後の仕上げ作業」とい、「商品をお客様に喜んでいただけることが何よりも嬉しい」と優しい口調ながらも誇らしげに語る姿がとても印象的でした。

パウンドケーキが好評を得ることになった理由のひとつには、利用者さんたち、職員さんたち、それぞれの「素材」を絶妙に調合する相互の努力があつたからこそなのだろうと、優しく甘い香りがする店内でそう感じました。

取材／大矢真那



Pound ya

※編注／記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。



障がいのある人が
「いつもの街でいつもの暮らし」を送れるように
「親なきあと」支援に取り組み
誰もが安心して暮らせる社会を目指す



社会福祉法人多摩市社会福祉協議会
地域活動センターあんど
吉村貴子さん
よしむら・たかこ



俳優
布施博

社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会
東京都多摩市南野3-15-1
多摩市総合福祉センター
TEL / 042-356-0307
<http://www.tamashakyo.jp/>



布施博が訊く

社会福祉法人
多摩市社会福祉協議会
×
布施博

「社会福祉協議会」とは、社会福祉法109条に基づき、地域福祉の推進を図る事を目的とした営利を目的としない民間組織のこと。
また、「地域福祉」とは、地域住民が主体になって知恵や資金を出し合いながら協力して誰もが住みやすい街づくりを目指すことと定義されていて、この地域福祉を手助けしている組織が全国にある社会福祉協議会(社協)だ。
社協では専門スタッフが日常での困りごと相談や各種の支援などを行っていて、地域に住む人たちの誰もが安心して暮らせる社会の実現を目指した総合的な支援を行う組織でもある。
一般的な相談や支援はもちろんのこと、「親なきあと」の支援に力を入れているという多摩市社会福祉協議会で担当者らに話を訊いた。



社会福祉法人多摩市社会福祉協議会
地域活動センターあんど
立山裕子さん
たてやま・ひろこ

多摩市社会福祉協議会が行う「親なきあと」支援を訊く

布施 MELDIAの取材で話を聞く中で「親なきあと」の問題についてを耳にすることが非常に多いんですよ。ここ（多摩市社会福祉協議会）では「親なきあと」支援をやっているのですが、その話を聞かせてください。

吉村 はい。約5年前から「親なきあと」の問題に着目して支援に取り組んできました。

布施 そもそも、どうして「親なきあと」支援を始めようと思ったんですか？

吉村 私たち多摩市社会福祉協議会が相談支援を行っていく中で、障がいのある子どもを持つ親御さんから「親なきあと」に関する不安などを相談されることが多くなっていました。実は最初、私たちは「親なきあと」の問題について、知識や情報をあまり持っていませんでした。

布施 なるほど。

吉村 私たちのところへは障がいのある子どもを持つ親御さんも多く相談にいらつしやいます。その人たちが持つ「親なきあと」の不安を少しでも軽減するためには、支援をする側の私たちが知識や知見を身に付けておかなければならないと思いました。インターネットで情報を検索していく中で、行政書士の渡部伸先生が主宰している「親なきあと相談室」の存在を知りました。そこで、連絡を差して、渡部先生に講演会をお願いしたのが始まりです。

吉村 そうです。そうですね。

布施 実際に、どんなタイミングで相談に訪れる人が多いんですか？

吉村 ケースバイケースではありますが、お子さんが特別支援学校の高等部を卒業して社会に出て、生活も少し落ち着いた頃に相談に訪れるケースが多いです。

布施 子どもの年齢が30歳くらいの頃か。

吉村 お子さんがそれくらいの年齢になった頃に、「また自分（親）が元気でいるうちに準備しておきたい」と、相談にいらつしやる人が多い傾向にありますね。

布施 なるほど。ここに相談に来たとして、どんな手順で、どのようなサポート（支援）が受けられるんですか？

吉村 まずは「親なきあと相談室」で不安や悩みなどを相談して、「何をどのようにすれば良いのか」を明確にさせていただきます。

布施 そうか。「何が不安なのか」「何が分からないのか」、その結果「どんな準備が必要なのか」を自覚してもらってから始める、と。

吉村 そうなります。福祉サービスの利用や手続きに関すること、「成年後見制度（※）」に関しても、この社協内にある「権利擁護センター」で相談をすることがあります。

布施 「どこで、どんな相談ができるのか」を知っているだけでも安心感はあるよね。

吉村 その通りです。

布施 最初から「親なきあと」の問題についての専門的な知見をお持ちだったというわけではなかったんですね。

吉村 そうなんです。

布施 障がいのある子どもを持つ親たちからは、どんな相談が多いんですか？

吉村 文字通り「親なきあと」の子どもたちの生活に関する相談、特に金銭面で不安を感じるという声が多く寄せられます。

布施 やはりそこは心配な部分だよなあ。

吉村 「何をしておけばいいのかわからないか」「何を誰に相談すればいいのかわからないか」という漠然とした不安を抱える親御さんも多いですね。

「親なきあと」の子のために「親あるうち」に備えること

布施 親としては子どもの将来を考えてあげるといえるのは必要なことなんだけれども、実際には自分がまだ元気でいられるうちだとか、問題に直面してないとかだと、なかなか行動に移せないだろうし、「問題がある」ことに気付けないこともあるよね。

吉村 障がいのある子どもを持つ親御さんだけではなくて、誰でもそうなんだと思います。

布施 境遇は少し違うんだけど、僕は実の母と妻の母と2人を介護した経験があるんだけど、

困ってからでなく平時から相談の窓口を認知しておく

布施 これまでに継続して「親なきあと」支援をしていく中で、これは大変だったなあと思った事例がありましたか？

立山 親が病気で動けなくなりました。突然に亡くなってしまった、というお子さんの事例がありました。

布施 そういう時はどうするんですか？

立山 緊急の対応として、福祉施設への入所手続きを代行することになりました。

布施 なるほど。そういう、即時の対応が必要になることもあるわけだ。

立山 この事例のお子さんには、日中に通っている福祉施設がありましたし、以前から交流があった地域の人たちの支援があったから、それは良かったかなあと思います。

布施 不安や悩み、いざそれに直面しないと考えることもないし、気付かないこともあるよね。それぞれの家庭で事情が違う場合もあるだろうけれど、こうした相談窓口があることを障がいのある子どもの親が知っておくだけでも「親なきあと」の安心感には繋がるよね。

立山 「何が問題なのか」を明確にしておく意味でも、「親なきあと」を「親あるうち」に考えておく意味でも、地域の社会福祉協議会などへ相談に行ってみて欲しいと思います。

取材後記

「社会福祉協議会」と聞いて、どんな組織なのかを熟知している人は少ないと思う。僕自身の経験からいえば、母たちの介護を始めた頃に「何から始めれば良いのか」「どうすれば良いのか」と途方に暮れていた時、社会福祉協議会の存在を教えてくれる人がいて初めて知った。

MELDIAの取材なので、障がいのある子どもを持つ親の話に焦点を当てたが、地域に住む人たちの生活に資するための相談や支援を行っている組織が社会福祉協議会だ。

有事に相談ができる窓口があることだけでも多くの人に知っておいて欲しいと思う。

布施博



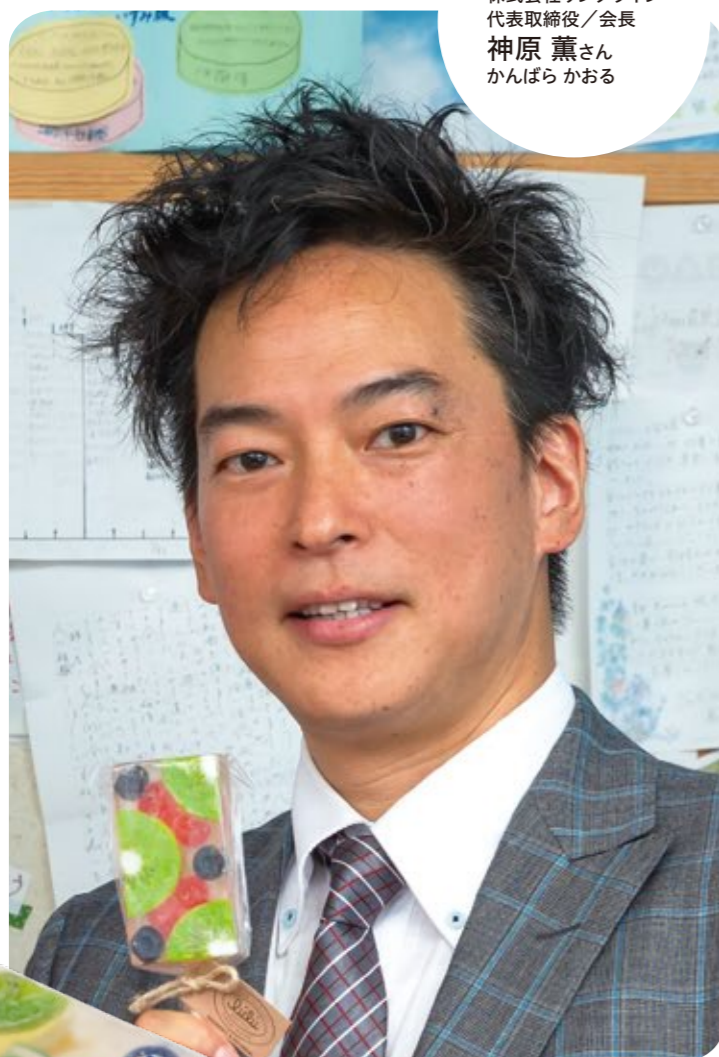
新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクまたはフェイスシールドを着用して取材を行いました。また、取材の一部をオンラインで行いました。（編集部）

※成年後見制度／認知症、知的障がい、精神障がいなどの理由で判断能力が十分でない人に代わって財産管理や身上保護などの法律行為を行う「後見人」を選定できる制度。
※編注／記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。





株式会社リンクライン
代表取締役/会長
神原 薫さん
かんばら かおる



一般財団法人メルディア
事務局
後藤 正善
ごとうまさよし



2021ベルマーレクイーン
門上 華子
もんじょうかこ



2021ベルマーレクイーン
中野 優希
なかのゆうき



一般財団法人メルディア主催

MELDIA Café

MELDIAの発行元である一般財団法人メルディアでは、障がいのある人たちを支援する事業、青少年のスポーツ支援事業など各種の社会貢献事業を行っています。

その事業の一環として、障がいのある人たちと家族、障がい者支援をする人たち、そして社会とを繋ぐイベントとして開催しているのがMELDIA Caféです。

9回目の開催となった本イベントでは、他では類を見ないユニークな手作り石鹸ブランドを展開している株式会社リンクラインの神原薫さんをゲストに迎えて、出演者による石鹸作り体験など、盛りだくさんの内容で開催されました。その模様を大橋はるかがレポートします。

第9回MELDIA Café

ONLINE & ONLIVE

心と心をつなぐ ギフト石鹸



株式会社リンクライン
神奈川県小田原市穴部547-2
TEL / 0465-22-4217
<http://www.linkline.co.jp/>





Soap making Time... Difficult but fun!



後藤 なるほど。それにしても、本物のフルーツのような、とても可愛い石鹸ですね。
神原 機械ではできない、手作りならではの石鹸を作ろうと試行錯誤して突き詰めた結果、このようなアートフルな石鹸になりました。
後藤 お客様の反応はどうですか？
神原 「もったいなくて使えない」という声が多いですね。それだと、石鹸の本来の意味を成さないんですよね。見た目だけではなくて成分にもこだわって作っているの、鑑賞するのではなくて実際に使って欲しいです。

MELDIA Café ONLINE & ONLIVE

配信形式のメルディアカフェ 出演者たちが石鹸作りを体験

障がいのある人たち、そのご家族、障がい者支援に携わる人たち、本誌の読者など、障がいのあるなしや属性などに一切関わりなく、「誰でも」「どこにいても」参加できることを目標にして定期的に開催しているイベントがメルディアカフェです。新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から開催方法を模索し、「誰でも参加できる」という部分を主眼に置いて、現在はオンラインのライブ配信形式で開催をしています。インターネットに接続できる環境さえあれば、実際にイベント会場に行かなくても、全国のどこにいても、誰でもイベントに参加または視聴できるというメリットもあります。

——さて、今回のメルディアカフェのテーマは「心と心をつなぐギフト石鹸」です。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう現状では手洗いに必要な「石鹸」の需要が高まっています。また、手洗いの頻度が高まったことで無添加素材を使用した作られた石鹸が改めて注目されるようになってきました。

そこで、障がいのある人たちが作る、ユニークでカラフルなオリジナル石鹸ブランドを展開する株式会社リンクラインの神原薫さんをゲストにお招きしてのスペシャルトークと、同社が手がける無添加素材によるギフト石鹸作りを出演者たちが体験

するという、内容が盛りだくさんなオンライン配信イベントになりました。

イベントの進行を務める2021ヘルマールレクイーンの中野さんと門上さんの挨拶から始まり、「一般財団法人メルディアの事務局・後藤正善さんによる開会の言葉に続きます。

「第9回目の開催となるメルディアカフェですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から前回同様オンラインのライブ配信形式でのイベント開催になります。今回も、皆さんのお役に立てるような情報をたくさんお届けできたらと思います。どうぞ最後まで「視聴ください」(後藤さん)

ゲストを招いてテーマトーク なぜ「手作り石鹸」なのか？

後藤さんの挨拶に続いては、今回のゲストである株式会社リンクラインの取締役会長・神原薫さんの登場です。

後藤 まずは、リンクラインさんの事業内容を教えてください。

神原 見ているだけでも楽しくなるような石鹸を、障がいのある人たちと一緒にハンドメイドにこだわって作っている会社です。また、将来に一般企業で働くことを目指している障がいのある人たちが職業訓練をする就労継続支援B型事業所も

手作り石鹸体験をしてみよう 各々のセンスを石鹸に込めて

神原さんと出演者らによるスペシャルトークの後、リンクラインの工場内の様子と、そこで働く障がいのある人たちが映りました。

衛生的な工場の中に、たくさんのフルーツ石鹸のパーツが並べられています。オレンジ、キウイ、いちご、ブルーベリー、すいかなど、どのパーツもフルーツそのもの。パーツだけを見ると、「ここが石鹸を作っている工場ではなくフルーツを加工する食品工場だと錯覚してしまうほどです。

フルーツの種類ごとに分けられた入れ物の中からパーツを取って、型の中に器用に並べる作業の様子は、正確かつ手際が良く、まさに職人技を見ているかのよう。

工場見学の後には、お待ちかねの手作り石鹸を出演者たちが体験する企画のスタートです。

予め用意されたフルーツのパーツを型の中に自由にレイアウトして並べますが、手先の器用さとレイアウトのセンスが問われます。

並べ終えたら、電子レンジで溶かした石鹸を既定の温度になるまで待って型に流し込み、それが冷えたら完成です。

出演者たちが作った石鹸には、それぞれに個性がありました。全員がとても楽しそうに手作り石鹸の体験ができたようです。

オンラインショップ
lili
https://lili.link/

運営しています。障がいのある人たちが社会との共生や自立を目指して頑張っている会社でもあります。

後藤 なぜ、石鹸作りを始めようと思ったのでしょうか？

神原 障がいのある人たちと一緒に何をすれば良いのかを考えた時に、生活の中に必ずある「バスタイム」に着目しました。例えば先に、どんなに時代が変化しても、「お風呂に入る」習慣はなくならないと思いませんか？

後藤 そうですね。お風呂で毎日使う石鹸であれば、需要が途切れることがなくて、市場に向けて長く供給することができそうです。

神原 おっしゃる通りです。それに、丹精を込めて石鹸を手作りすることと、障がいのある人たちが持つ温もりの部分が非常にマッチしているなと思ったのも理由のひとつになります。



can not eat.
This is soap!

「こうして自分でやってみると、想像していた以上に繊細な作業が必要で、リンクラインさんで働く障がいのある人たちの技術は卓越しているんだなあと感じました。貴重な体験をさせていただいたのと、こうした情報を配信を視聴していただいた皆さんと共有できたことは良かったと思います」(後藤さん)

「障がいのある人たちが真剣に作業に打ち込んでいる姿が印象的でした。石鹸作りの体験はとても楽しかったです」(門上さん)

「これが石鹸なんだということは分かっていますが、使ってしまうのはもったいない感じがするのですが、しばらくは部屋に飾っておきたいと思います」(中野さん)

新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクまたはフェイスシールドを着用して取材を行いました。また、取材の一部をオンラインで行いました。(編集部)

※編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。

Singer-songwriter
Keiko Mizukoshi



シンガーソングライター

水越けいこ

1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を続けている。



水越けいこブログ
<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>



でも、なんと素敵なご家族なんだろうとも思いました。Tさんがどれだけ愛されているのが良く分かるお話でもありました。

でも、なんと素敵なご家族なんだろうとも思いました。Tさんがどれだけ愛されているのが良く分かるお話でもありました。

でも、なんと素敵なご家族なんだろうとも思いました。Tさんがどれだけ愛されているのが良く分かるお話でもありました。

でも、なんと素敵なご家族なんだろうとも思いました。Tさんがどれだけ愛されているのが良く分かるお話でもありました。

る度に、皆さんへの感謝の気持ちが湧いて来ます。ありがとうございます。

運動不足を解消するアイデア あるご家族の愛に溢れるお話

お知り合いに、麗良と同じダウン症のある息子さんを持つご家族がいます。

その息子・Tさんは2021年8月で45歳になることで、麗良よりもだいぶ年上にはなりますが、以前からご家族とも親しくさせていただいています。折々に

み続けています。

この街に住み始めたばかりの頃、息子はまだ3歳。ダウン症があり、しかも病弱で健康には常に不安を抱えているような状態であり、その頃の私には精神的にも生活にも余裕が全くないような状況に陥っていました。

また、育児のためにシンガーソングライターとしての活動を長く休止していたため、この先に再び復帰できるのかどうかも不安でした。

晴れることのない不安に押し潰されそうだった私を救ってくれたのは、息子と同じダウン症の子どもを持つ人たち、友人たち、音楽関係の仲間やスタッフ、そして、私が活動を休止していた間も応援をしてくれていた全国のファンの人たちから届く励ましの声やお便りでした。

多くの人たちが愛情や声援を注いでくれたからこそ、現在の私たち親子があるのだと、ベランダで咲く花たちを見

ベランダで咲く花たちに思う この街に暮らす「はじまり」

息子の麗良(れいじ)と私が2人暮らしをしている現在の自宅にはベランダがあります。決して広くはありませんが、数鉢の花弁(かき)を育てるのには十分なスペースです。

ベランダには、ラン科の「スペシオキングアナム」、「スカピオサ(マツムシノウ)」、可憐な「マーガレット」、前年に採った球根から育てている「チューリップ」などがあります。

どの花も、手を掛けて愛情を注いであげると、季節に応じて華麗に咲いてくれて、親子2人だけの生活に彩りを添えてくれます。

花への水やりや手入れをする度に、花を見る度に、ベランダから街の様子が臨めます。都心からそれほど離れてはいないものの、喧噪とは無縁の落ち着いた雰囲気、街並みと暮らしやすいこの街の辺りに新居を選び、ずっと同じ地域に住

離婚を契機にして、親子2人で暮らすために最初に選んだのが現在の街です。そこから数えて2回の転居を経験しましたが、大好きで暮らしやすいこの街の辺りに新居を選び、ずっと同じ地域に住

お会いして近況を報告し合ったりしています。

ある時、Tさんのお母さんから悩みを相談されたことがあります。

若い頃のTさんはスポーツが大好きだったそうで、毎日のように自宅の近くにある公園でサッカーボールを蹴って遊んだり、自宅の庭に設置してあるバスケットゴールスタンドに向けてシュートを狙うのも日課だったそうです。

しかし、Tさんのお母さんによると、「最近サッカーもバスケットもしく



ミニアルバム

「Re: I love you」収録曲

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 蒼い涙 | 4. モノクローム |
| 2. About me | 5. 私への誓い |
| 3. 草原に降る雨 | 6. Re: I love you |

ミニアルバム「Re: I love you」の詳細や購入方法は「水越けいこブログ(Ameblo)」にてご確認ください。

ソーシャルファーム事業で

見つける新しい働き方 福祉の枠に捉われない

APPLAUSE GARDENの挑戦



APPLAUSE GARDEN

一般社団法人アプローズが運営するアプローズ南青山では、企業や個人からの注文を受けて、オーダーメイドのアレンジメントフラワーやフラワーギフトなどを製作しています。

就労継続支援B型事業所の形態で、プロのフローリストの指導の下、精神障がいや知的障がいを持つスタッフらが、質の高い商品を生み出しています。

同法人の立ち上げから8年、2021年6月から新たに受注生産型のお花屋さん「APPLAUSE GARDEN」をスタートさせました。東京都のソーシャルファーム事業の予備認証(*)を受けているAPPLAUSE GARDENについて、理事の光枝さん、APPLAUSE GARDENの岸本さんと日野浦さん、ここで働く従業員のIさんにお話を伺いました。



*取材時(取材は2021年6月下旬に実施)

作業所の形には捉われない ソーシャルファーム事業とは

MELDIA編集部(以下、編集部) APPLAUSE GARDEN(アプローズガーデン)は、ソーシャルファーム事業の予備認証を受けているそうですね。まずはソーシャルファーム事業について教えてください。

光枝 ソーシャルファームは社会的企業と訳され一般企業での就職が難しい方を雇用し、他の従業員と一緒に働くところです。社会に貢献する役割を担う企業・団体という位置づけなのですが、APPLAUSE GARDENは東京都の認証を受けて開設する事業所です。2019年に東京都が施行した「ソーシャルファーム条例」に基づいて、東京都が各企業を認証する仕組みになっています。そこに一般社団法人アプローズも手を挙げさせていただきました。

編集 APPLAUSE GARDENがソーシャルファーム事業の認証を受けると、どういった働き方ができるのでしょうか。

光枝 一般の雇用と同じになります。APPLAUSE GARDENとスタッフは雇用契約を結び、「お花屋さん」として働いてもらいます。

編集 APPLAUSE GARDENは、お花屋さんとして店舗を構えているのですか？

光枝 基本的には受注生産の形をとっているのですが、外から入ってきた一般のお客様に直接お花を

売るのではなく、オーダーいただいたものに対して生産し、販売をしています。

編集 一般社団法人アプローズでは、オンラインショップの「BISTARAI BISTARAI(ビスターレ・ビスターレ)」も運営されていますが、APPLAUSE GARDENの事業とは別になるのでしょうか。

光枝 BISTARAI BISTARAIは、「障害者総合支援法」に基づいて指定を受ける障害福祉事業なのですが、ソーシャルファーム事業は東京都産業労働局認証の事業なので、同一法人ではありませんが別物になります。そのため、働く対象の方たちも変わってきます。障がいを持っている方たちだけではなく、引きこもりの方だったり、シングルマザーだったり、ご家族に介護が必要な方がいたりなど、今までの障害福祉サービスよりも幅広い就労困難者の方たちを雇用させていただく事業です。

編集 なるほど。障がいに限らず働けるということですね。

まずは花屋としての確立から プロの指導でスキルアップも

編集 現在、APPLAUSE GARDENでは何人が働いていますか？

光枝 サポートスタッフを入れて5人の従業員が働いています。

編集 APPLAUSE GARDENを今後と

のように発展させていきたいか、この先の展望があれば教えてください。

光枝 6月から始まったばかりなので、本当に手探りの状態ではありません。ただ、ソーシャルファーム事業の良い所を活かし、一般就労になかなか結び付かない方たちの受け皿としての役割ができると思っています。例えば、週に10時間ですとか、ごく短時間でしか働けない方でも、まずはここで第一歩の就職を実現させて力をつけて、また次の一歩を踏み出してもらおうような、包括的な支援が将来的にはできたらいいと思います。

編集 これからいろいろな可能性が広がっていくそうですね。

光枝 そうですね。まずはソーシャルファーム事業としてのAPPLAUSE GARDENをお花屋さんとしてしっかり確立させていかなければと考えています。



APPLAUSE GARDEN/
一般社団法人アプローズ
東京都港区南青山4-8-4 パレス南青山103
TEL / 03-6455-5442
<http://applause-aoyama.com/>



*編注/記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。



一般社団法人アプローズ/代表理事
光枝 茉莉子さん
みつえだまりこ

一般社団法人アプローズ
APPLAUSE GARDEN
東京都認証ソーシャルファーム事業
ディレクター
岸本 琢さん
きしもとたく

一般社団法人アプローズ
APPLAUSE GARDEN
東京都認証ソーシャルファーム事業
社会福祉士
日野浦リサさん
ひのうらりさ



APPLAUSE GARDEN



BISTARAI BISTARAI
<http://bistarai-bistarai.com/>



ONLINE SHOP

BISTARAI BISTARAI
ONLINE SHOP
<https://bistarai-bistarai.stores.jp/>



新型コロナウイルス感染症に留意し、衛生面には最大限の配慮をしたうえで人的距離を確保して取材を行いました。取材中は適宜に換気を行い、素材写真の撮影時以外は全員がマスクまたはフェイスシールドを着用して取材を行いました。また、取材の一部をオンラインで行いました。(編集部)



ゴールではなくスタートの場 次のステップアップも目指す

編集 お花の仕事が初めての人もいますか？
岸本 未経験の方も、経験者もいます。それぞれの方のレベルに合った仕事を、まずは割り振るようになっています。
編集 APPLAUSE GARDENは一般の会社ということですが、ハローワークで求人なども行うのでしょうか。

編集 一般社団法人アプローズのホームページで、オンラインショップで販売されている商品を見ましたが、どれもきれいで、実際に家に飾ったり、贈り物にしたいと思ったりするものばかりでした。APPLAUSE GARDENでも、お花の技術指導をする人がいるのですか？
光枝 お花の技術指導は、岸本が担当しています。お花の指導だけではなく、日々の相談支援やサポートが必要な方もいるので、そこは福祉の専門家の日野浦が担当しています。
編集 岸本さんは、従業員の人たちと仕事をしていく中で工夫していることはありませんか？
岸本 お花屋さんの仕事なので、お花を見立てる仕事から、納品して最後に回収するなど結構幅広いんです。仕事をなるべく皆に均等になるようにシフトを組み、少しずつ仕事のレベルとスキルアップができるようになっています。

日野浦 今回は、ハローワークで求人を出しました。障がいのある方たち限定ではなく、一般の求人を出しています。ただ、ソーシャルファーム自体が初めての試みなので、今後どのような形で求人をしていけば良いか、ハローワークとも相談(※)しています。
編集 APPLAUSE GARDENで6月から働いている従業員さんにお聞きしたいのですが、現在の仕事内容を教えてください。
従業員Iさん(以下、Iさん) 配達納品やメンテナンス、花壇の緑化作業をしています。あとは、サンブルの製作などもしています。
編集 どれくらいの時間働いていますか？
Iさん 1日5時間で週に2日働いています。
編集 まだ始めて1か月ですが、仕事をしてみてどうでしょうか。
Iさん 元から好きだったお花に囲まれて仕事ができているし、まだ人が少ないこともあって、分刻みで動くようなことも無く、良い意味で余裕を持って仕事できています。高校卒業後に社会へ



出て働くのは初めてなので、ここで社会人としてのマナーや生花を扱う技術などを身に付けて、子どもに誇れるような人になりたいと思っています。
編集 ソーシャルファーム事業は、障がいに限らず就労に困難を抱えている人たちを対象としていることが分かりました。APPLAUSE GARDENから、就労困難に直面する人たちに何かメッセージがあれば教えてください。
光枝 一般社団法人アプローズが設立当初から大事にしているのは、障がいのある方や、就労に困難のある方たちを福祉の世界に閉じ込めないということです。APPLAUSE GARDENでの就労をゴールとするのではなく、ご本人の意思でキャリアアップを目指す際のワンステップとしてご理解いただき、技術や力を蓄える場としても活用していただければと思います。



APPLAUSE

一般社団法人アプローズ
東京都 港区南青山4-3-24 青山NKビル2F
TEL / 03-6804-3623
<http://applause-aoyama.com/>



※採用にあたっては、応募者が週に10時間以上働けること、東京都の就労困難者の認定審査会を通ることが条件。

熱血&硬派の弁護士が
「法律」を熱く解説

ググってないで俺に聞け!



第8回

権利と義務と

法的義務と努力義務 同じ義務でも重みが違う

障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律である「障害者差別解消法」が改正されました。今回の同法改正の重要な部分は、行政機関だけでなく、民間の事業者も、社会的障壁に当たって困っている障がいのある人たちに対しての「合理的配慮」を提供する「法的な義務がある」とされたことです。

改正前の条文では、「配慮をするように努めなければならぬ」と記されていましたが、改正後には「合理的配慮を提供する」法的な義務があることとされたことです。

私が特に不十分だと思うのは「施設及びサービス等の利用の容易さ」です。バリアフリーは進んできていますが、まだまだ不十分です。

障がいのある人たちが「現地で何かに困ることはないかな」と心配することなく出掛けられるような状況にはなっていません。

そうした日常生活の心配が障がいのない人と同じレベルにまで減って初めて障がいのある人たちの社会参加が可能になると私は思います。

少し大きさはあはるけれど とっても重要で大切なこと

今回の障害者差別解消法の改正では、障がいのある人たちの差別解消のため、国と地方が連携することや、差別解消のための支援措置も義務付けられました。これらは派手な改正ではありませんが、差別解消のための重要な一歩であると思っています。

さて、合理的配慮が法的義務になったということを中心にお話ししてきましたが、「義務」とペアになる「権利」という言葉について説明したいと思います。

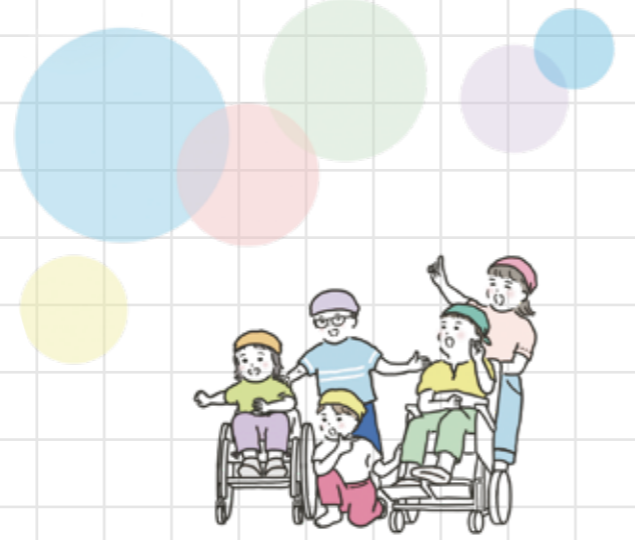
「義務」は「やらなければならないこと」です。これに対する「権利」は「できること」です。特に、人権

の条文においては、「配慮をしなければならない」と改められました。

改正前は、合理的配慮をするための努力さえすれば、それで義務を果たしたことになります。しかし、改正後の条文は「配慮しなければならぬ」という書き方になりました。

つまりこれは合理的配慮をする努力をしただけではダメで、合理的配慮を実際に提供しなければ義務を果たしたことになる、という意味になりました。

合理的配慮を提供する義務に違反しても、刑事罰を受けるわけではありません。しかし、法的な義務に違反しているので、違法にはなりません。違反



という意味で使われる権利というのは「誰にも邪魔されず自由にできること」を意味します。

ひと昔ほど前から、「自己責任」という言葉が流行っています。それと同時に、「権利には義務が伴う」とか「義務を果たしていないのに権利だけ主張するな」といわれることも増えました。悲しい風潮だと思っています。

誰にも邪魔されず自由に生きることは、人間として当たり前のことです。そこには「義務」は伴いません。人間、ひとりひとりが自由に個性を発揮して生きる社会だけが、発展していきます。自由に生きることは、それだけで社会の役に立つことだと私は思います。

障害者、つまり、社会的障壁という障害に直面している人たちは日々、不自由を味わっています。

をしている者に対しては合理的配慮をするように強く要求することができますし、合理的配慮が提供されなかった場合の責任追及もやりやすくなります。

そして、同法の改正により、これまでより多くの人たちが合理的配慮を真剣に考えてくれるようになりそうです。合理的配慮については以前も記事を書いているので読んでみてください。

障害者差別解消法は、障がいのある人たちの権利に関する条約の内容を日本国内で実現するために作られた法律です。

合理的配慮が法的義務になるなど、徐々に充実してきた障害者差別解消法ですが、条約の内容と

ただでさえ、権利や自由が十分でないのに義務を負わされたのでは堪りません。

自由に発言し、自由に生きて、自由に権利を主張しましょう。それによって、その人も、社会も、明るく豊かなものになります。

障がいのある人たちが社会に進出し、自由に生きることそれ自体に価値があります。障がいのある人でなければ見えない景色を伝えていくこと、何より、唯一無二の存在であるあなたの個性が発揮されることで社会は更に良くなっていくと私は思っています。

合理的配慮の提供が法的義務になったということは、それを求める時の建設的対話をする機会も増えていくということです。社会はあなたの対話を求めています。

KITASENJU ASUMI LAW OFFICE
北千住あすみ法律事務所

北千住あすみ法律事務所

東京都足立区千住仲町40-3
グラン・パレ北千住101
TEL / 03-6812-0742
<https://kitasenu-asumi.com/>

※編注/記事中の表現は著者本人の意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。

障がいのある子ども

未来の暮らしを護る

「親あるうち」に

「親なきあと」を準備する

障がいのある子どもを持つ親たちの多くには、共通の悩みや不安があります。養育または保護をする親(自身)がいなくなった後、いわゆる「親なきあと」の障

がいがある子どもたちの未来のことです。

「親なきあと」に金銭面や財産の管理を委託するのならば成年後見制度や信託、人身の見守りであれば社会福祉協議会、生活面のケアにはヘルパー制度などと、それぞれの問題を解決するための仕組みや制度は整備されています。しかし逆に、窓口が複数あることで「相談がしにくい」という弊害もあるようです。

多くの人が抱える「親なきあと」の悩みに寄り添い、各種の問題を相談できる「親なきあと相談室」の渡部伸さんにお話を聞きました。

「親なきあと」問題は多様

福祉では解決し難い事もある

後藤 渡部さんは、障がいのある子どもを持つ親などに向けた「親なきあと相談室」を主宰されて広く活動をされていることで知られていますよね。そもそも、どうして「親なきあと相談室」を開設しようと思ったのか、その辺りの経緯からお聞かせください。

渡部 私自身が知的障がいのある子どもを持つ親なので、「親なきあと」の問題については常に不安を感じていました。

後藤 「親なきあと」が不安だという話は私もよく耳にします。

渡部 「親なきあと」には、福祉の窓口だけでは解決しにくい、お金のことなど様々な問題があります。例えば、「成年後見制度」については「存じですか？」

後藤 はい。MELDIAで取り上げたことが何度かありました。

渡部 成年後見制度について書かれている本が多く、専門家も多いのですが、障がいのある子どもを持つ親にとっては、この成年後見制度の知識だけでは足りない。その他にも非常

漠然とした不安にも寄り添う いつどこで相談が出来る？

後藤 どんな相談が多いんですか？
渡部 一番多いのが「何からやればいいのか分からない」という漠然とした不安を持つ人(親)たちからの相談ですね。

後藤 そうなんですか。
渡部 お金の心配をしている人も多いのですが、そんな時はまず「お子さんが将来的にどこで暮らすようになるかを考えるようにしましょう」と言っています。

後藤 「親なきあと」に、お子さんたちがどこで生活するのか、ということですよ。

渡部 そうです。グループホームに入って暮らすのか、福祉サービスを使って一人暮らしをするのか、色々な暮らし方がありますよね。その暮らし方によって、お金の掛かり方が違っ

てくることとなります。他には「こんな事をしていたら良いんだろうな」と、何となくは分かっているけれど、まだ何もできていないという人の

背中を押してあげたりもしますね。
後藤 「背中を押してあげる」って、結構重要な役目だと思います。

渡部 背中を押されることで漠然とした心配事が明確になることも多いと思います。何か不安な気持ちがあるのだとしたら、気軽に「親なきあと相談室」に相談していただければと思います。
後藤 どのように相談すればいいですか？

渡部 多摩市社会福祉協議会に月1回、ゆうちよ財団には月に2〜3回、

私が出向いて「親なきあと相談室」の場を設けています。

後藤 地方にお住まいの人が相談したい場合はどうすれば良いですか？

渡部 メールでの相談は随時受け付けていますし、全国には「親なきあと相談室」が70ヶ所あるので、そこに相談して欲しいと思います。

後藤 今後の展望をお聞かせください。

渡部 これまで多くの相談を受けるなかで、より多くの相談窓口の必要性を痛感しました。これからも「親なきあと相談室」の認知拡大と相談窓口を増やす活動は続けていきたいし、続けていくべきだと思っています。



親なきあと相談室／行政書士
渡部伸さん
わたなべしん

※編注／記事中の表現は被取材者個人の感想や意見であり、一般財団法人メルディアおよび広報誌MELDIAの公式見解ではありません。



「親なきあと」相談室

東京都世田谷区砧3-24-9
ヴェルレージュ世田谷・砧508
<https://www.oyanakiato.com>



聞いた人：
一般財団法人メルディア
事務局/後藤正善

障がい者支援事業 2つの障がい者支援

情報発信

障がいのある子どもを育てる親や保護者らを支援することを目的として、障がい福祉関連情報の発信と、障がいに関する社会的認知向上に寄与するべく広報誌「MELDIA」を発行しています。

広報誌「MELDIA」は、障がいのある子ども、その子を育てる親や保護者、障がいの当事者らに有益な情報を提供すること、支援団体などに対する寄付を一般企業や個人から募ることを目的に発行しています。



直接支援

——あなたの「不安」を「可能性」に変えたい。

私たちメルディアでは、「職業能力評価」や「就労訓練」を通じて一緒に悩みや問題を解決し「働くこと」への不安を払拭するためのお手伝いをしたいと考えます。

できることを知り、できることを増やし、自身がやりたいことに取り組める未来を実現するための直接支援が提供できるよう、2021年7月1日に新たな直接支援サービス「メルディアトータルサポート」を開発いたしました。



ABOUT MELDIA

青少年スポーツ支援事業

奨学制度

一般財団法人メルディアでは、個々が置かれている事情、経済的な理由からプロ選手を目指すことを諦めざるを得ない児童、生徒、青少年らの「夢」の実現を応援し、支援するための「奨学制度」を設けています。

2020年度の奨学生の中でもユース時代から活躍してきた田中聡選手が、初のプロ選手として「湘南ベルマーレ」とプロ契約を果たしました。田中聡選手は2021年4月からトップリーグで活躍しています。



©SHONAN BELLMARE

一般財団法人メルディア

名称／一般財団法人メルディア
 (英文名: general foundational juridical person MELDIA)
 設立者／小池信三
 設立日／2017年5月23日

所在地／東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
 電話／03-5381-3213
 URL／<https://meldia.org/>
 MAIL／org@gf-meldia.com

MELDIA

人と社会と福祉を

つなぐ

明るい未来の
 実現を目指して。

一般財団法人メルディアの理念

一般財団法人メルディアは、障がいのある人たちを支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童や青少年を支援する活動をしています。

これらの支援活動や各種の事業を通して、社会と、そこで暮らす人たちに広く貢献をすることを目的として2017年5月に設立された一般財団法人です。

財団設立の理念と目的に則した助成や支援の事業をはじめ、障がい福祉サービスなども提供しています。

一般財団法人メルディアの事業内容

01 障がいの当事者、障がいのある家族を持つ人たち、障がい者支援を行う団体などへの助成や支援をする事業。

02 様々な理由や事情によりスポーツ(サッカー等)への参加をを継続することができない児童、生徒、青少年への助成や支援をする事業。

03 障害者総合支援法に基づいた障がい福祉サービス事業。

04 その他、一般財団法人メルディアの法人設立の理念と目的を達成するために必要とする事業。

Recruitmen&Notice from Meldiat

各種の募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ

広報誌「MELDIA」 定期購読希望者募集

広報誌「MELDIA」はフリーペーパーです。定期購読をご希望の場合に送料無料で指定の住所まで発送をしています。定期購読をご希望の場合は当財団事務局までご用命ください。



定期購読のお申し込みはこちらから

※本誌の個別発送業務に関しては、東京都新宿区内にある福祉事業所の利用者さんたちに依頼しています。個別発送のタイミングにより、到着が遅れる場合がございます事をご了承ください。

広報誌「MELDIA」 常設置拠点募集

一般財団法人メルディア(以下、当財団)では、広報誌「MELDIA」(以下、本誌)の常設置拠点を随時募集しています。特に障がいのある人が集まる場所や施設内部など、設置場所の提供をお願いしています。詳細は当財団の事務局までお問い合わせください。

一般財団法人メルディアへの 寄付を募集しています

一般財団法人メルディアでは、私共の設立趣旨にご理解を頂いて事業の展開をご支援頂ける皆さまからの寄附を募集しています。



寄付の受付はこちらから

01 一般財団法人メルディアの 事業目的

当法人は、障がいのある方を支援する活動と、スポーツ(サッカー等)を行う児童、青少年を支援する活動を通じて、広く人々と社会に貢献することを目的とした事業を行っています。

04 寄附金額

10,000円以上任意

02 寄附金の使途

お寄せいただきました寄附金は、当財団が行う各事業に活用させていただきます。本誌上にて定期的にご報告いたします。

03 寄附金の募集期間

随時

05 税制上の優遇措置について

当財団は、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号)」に基づいて設立された一般財団法人です。非営利型法人ではありますが、寄附金は法に定める特定寄附金に該当しないため、寄附金控除等の税制上の優遇措置の対象とはなりません。ご理解とご承知のほど、何卒宜しくお願い申し上げます。

06 寄附のお申込受付について

ご支援いただける場合は下記に記載のURLにある「寄付申込フォーム」に必要事項をご記入のうえ、受付登録をお願いいたします。追って、お振込み口座などの詳細について連絡を差し上げます。指定口座への入金確認ができ次第、「寄附金領収証」を発行し送付いたします。



<https://meldia.org/business/donation/donations/>

お問い合わせはこちら

一般財団法人メルディア

〒163-0632 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル32F
一般財団法人メルディア 事務局/担当:後藤(ごとう)・鷺坂(さぎさか)宛て
TEL: 03-5381-3213 / MAIL: org@gf-meldia.com

ホームページとFacebook

一般財団法人メルディアのホームページでは当財団の取り組みやイベント情報、取材の裏話などの情報を掲載しています。Facebookページのご用意もあります。是非とも一度、ご覧ください。

MELDIA

<https://meldia.org/>



facebook

<https://www.facebook.com/gf.meldia/>



広報誌の発行と取材活動

広報誌 MELDIA

一般財団法人メルディアが障がいのある人たちと、そのご家族を支援する活動の一環として、障がいに関するあらゆる情報の源または情報交換の場としての役目を担う広報誌「MELDIA」を2017年11月より継続発行しています。2020年7月現在、広報誌「MELDIA」の累積発行部数は約90万部に上ります。

取材活動

広報誌「MELDIA」では、障がい者支援を行う事業所や団体、積極的に障がい者雇用を推進している企業などを取材しています。

取材活動を通じて、障がいに対すること、障がい者支援に関すること、それらの社会的認知度向上の一助となれるよう継続的な情報発信を行っています。



広報誌「MELDIA」隔月刊化のお知らせ

広報誌「MELDIA」は、障がいのある人たちとそのご家族、支援者の皆さまに対して有益な情報をお届けするための媒体として発行しているフリーペーパーです。

これまで本誌上において、当財団の取り組みや、障がいに関する様々な情報を多くの方たちにお届けすることを目的に月刊として発行を続けてきましたが、今号(44号)から「隔月刊(奇数月発行)」へと刊行頻度を変更させて頂きました。

隔月刊となっても、創刊時の初志や当財団の理念を貫き、「MELDIA」が皆さまがお困りの事象を解決する糸口になれるような冊子であり続けます。

毎月、本誌の発行を楽しみにされている皆さまには大変申し訳ありません。今後も弛むことなく、緻密で綿密かつ有益な情報の発信に務めることをお約束します。

一般財団法人メルディア事務局



サッカー観戦チケットプレゼント

サッカーリーグの開催期間中、メルディアグループがスポンサーを務める「湘南ベルマーレ」のホームゲームの観戦チケットプレゼントを実施しています。

療育手帳または精神障害者保険福祉手帳をお持ちの当事者と、その介助者、2名1組で「湘南ベルマーレ」の試合を観戦することができます。

▶▶チケットプレゼントの詳細は本誌のP30にて





観戦チケットプレゼント



©SHONAN BELLMARE

■ホームゲーム一覧

療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、介添者の方1名を湘南ベルマーレのホームゲームに抽選でご招待いたします！

開催日	キックオフ	対戦相手	申込メ切
8/21(土)	19:00	清水エスパルス	8/7(土)
8/29(日)	19:00	浦和レッズ	8/15(日)
9/18(土)or19(日)or20(月祝)	未定	アビスパ福岡	9/4(土)or5(日)or6(月)
10/1(金)	未定	横浜F・マリノス	9/17(金)

※9月開催のアビスパ福岡戦につきましては日程が決まり次第ホームページに掲載いたします。

■応募から観戦までのステップ

STEP 1

応募

HPの応募フォームへ必要事項をご入力



応募フォームはこちら

<https://meldia.org/present/>

ホームページからも応募できます

財団 メルディア 検索

STEP 2

メール

応募完了メールが届いたら受付完了

ドメイン指定をしている方「org@gf-meldia.com」を指定メールアドレスに追加してください。応募後、5日経っても応募完了メールが届かない場合は恐れ入りますが下記お問い合わせ先までお電話くださいますようお願いいたします。

STEP 3

抽選

当選者へメールでご案内いたします

当選者の方へ当選メールを送信します。メール内でチケットの受け渡し方法についてご案内します。当選発表はメールの送付をもってかえさせていただきます。

STEP 4

観戦

スタジアムへGO!

どうぞご観戦をお楽しみください！



※当財団はチケットプレゼントのみ提供いたします。試合当日のご案内はいたしかねますので予めご了承ください。なお、会場内で生じたトラブル等に関しては一切の責任を負いません。あわせてご了承ください。

ACCESS

レモンガスタジアム平塚へのアクセス 詳細は湘南ベルマーレHPをご覧ください



JR東海道線平塚駅、小田急小田原線伊勢原駅よりシャトルバス、路線バス運行



圏央道寒川南ICより湘南銀河大橋、国道129号線経由で約15分(国道129号線に随時「総合公園」の看板あり)

駐車場は台数に限りがありますので予めご了承ください。

■お問い合わせ先■

一般財団法人メルディア 事務局 担当:鷺坂(さぎさか)

TEL 03-5381-3213 受付時間▶月曜日~金曜日 9:30~18:30

※抽選結果に関するお問合せにつきましてはお答えしかねますのでご了承くださいませ。

01 社会福祉法人トラムあらかわ/荒川ひまわり
障がい者を応援

06 メルディアの基本理念、財団概要、支援事業
一般財団法人メルディアとは?

07 多摩市社会福祉協議会×布施博
布施博が訊く

11 MELDIA Café ONLINE&ONLINE
MELDIA Café #9

15 水越けいこが愛息・レイくんとの日々を綴る
水越けいこ連載「M size / はじまり」

17 APPLAUSE GARDEN/一般社団法人アプローズ
事業所探訪

21 北千住あすみ法律事務所/弁護士・高野倉勇樹
ググってないで俺に聞け!

23 親なきあと相談室/行政書士・渡部伸
親なきあと

25 財団の理念と事業/刊行頻度変更のおしらせ
一般財団法人メルディア

28 各種募集と一般財団法人メルディアからのお知らせ
募集と告知

【訂正とお詫び】MELDIA・40号に掲載の本記事の中で連載回数の表記に誤りがありました。連載回数の表記が「39回」となっていたものが、正しくは回数と同じ「40回」となります。訂正してお詫び致します。(MELDIA編集部)



44 MELDIA 2021 SEPT. CONTENTS

広報誌MELDIA Vol.44 / 2021年07月25日発行

発行元 / 一般財団法人メルディア
 発行人 / 小池信三
 事務局 / 榎本喜明、後藤正善、鷺坂浩章
 編集 / 株式会社サン・オフィス
 編集人 / 東宮恵美
 編集長 / 山口慎市
 制作進行 / 谷田貝亘介
 編集部 / 株式会社サン・オフィス / 制作部&メディア事業部
 ライター / 水越けいこ、布施博、大矢真那、高野倉勇樹、森清香、大橋はるか、こばやし
 カメラマン / 吉岡晋
 ヘアメイク / 株式会社Dharma
 デザイン / 有限会社フレッシュ・アド
 印刷製本 / タイハイ株式会社
 協力 / MELDIA GROUP 株式会社三栄建築設計、メルディアトータルサポート上野、社会福祉法人トラムあらかわ、荒川ひまわり、パウンド屋、社会福祉法人多摩市社会福祉協議会、一般社団法人アプローズ、APPLAUSE GARDEN、親なきあと相談室、北千住あすみ法律事務所、株式会社TDPミュージックパブリッシャーズ、カレントシユバープ、株式会社Dharma

※敬称略/順不同

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、政府ならびに東京都によるガイドラインを遵守し、衛生面には最大限の配慮をしながら取材を行っています。また、取材中はマスクやマウスシールドを装着のうえ、飛沫防止用のアクリル板などを設置し、適時に換気をしながら取材を行っています。(MELDIA編集部)



編集部Twitter
<https://twitter.com/MELDIAEdition/>

本誌の無断転載・複製を禁じます
 2017-2021©All Rights Reserved.
 一般財団法人メルディア/広報誌MELDIA
 MELDIA GROUP 株式会社 三栄建築設計 /
SAN OFFICE

次号予告
MELDIA vol.45
 2021年9月25日 発行予定
 一般財団法人メルディア

〒163-0632
 東京都新宿区西新宿 1-25-1
 新宿センタービル 32F
 一般財団法人メルディア 事務局
 TEL: 03-5381-3213